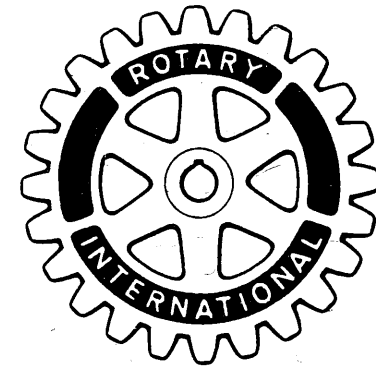


1988～1989年度

国際ロータリー第250地区

# 職業奉仕活動の集約



地区職業奉仕委員会



序文 1988～1989RI第250地区ガバナー	黒田一秀	…	1
職業奉仕に関するアンケート一覧表	第1分区	…	2
	第2分区	…	5
	第3分区	…	7
	第4分区	…	11
	第5分区	…	14
	第6分区	…	17
	第7分区	…	19
	第8分区	…	21
アンケートでの質問への回答		…	24
編集後記	地区職業奉仕委員長 前田啓三	…	24

この調査は '88. 8. 1～9.15の時期において実施したものです

## 序 文

1988～1989年度 R I 第250地区ガバナー

黒 田 一 秀

職業奉仕はロータリー組織の根幹であり、ロータリークラブの構成は、地域の一業種一会員を原則として、地域活動の縮図、断面を表わすことが理想といわれています。ポール・ハリス以来、異業種実業人と専門職業人の集りの意義を、われわれロータリアンは実感してきました。四つの奉仕部門のなかで職業奉仕こそ、ロータリアンらしさを保つ秘訣なのであります。しかし過去40年間、その実際活動については、それ以上の検討反省を加えられなかったことも事実のようであります。われわれはロータリアン個人であると共に、奉仕の理想をかかげるクラブの会員であり、国際ロータリーの一員であります。

青少年や高齢者に対する奉仕活動は社会奉仕部門の問題ですが、職業奉仕部門からも、個人を超えてクラブとして対応することが要請されるような時代になってまいりました。

今回、地区委員長は職業奉仕における R I 新方針の提示に際して、われわれ250地区の各クラブおよびクラブ員が現在までどのような実践をなさっているかアンケート調査をされ、一冊にまとめられました。この御努力を多とし感謝申し上げます。

第250地区64のクラブは、それぞれ特徴ある活動をすでに実践されておられます。奉仕について伝統のあるロータリーが、近年のめまぐるしい社会の変化に対する新しいあり方を模索し実践するためのよいヒントを本誌は必ずや与えてくれるものと思います。

この記録を大いに御利用お願いいたします。

分 区	第 1 分 区	
	天 塩	豊 富
職 業 奉 仕 計 画 の 概 要	職業奉仕事例等をテーマに 討論会を行う	地域の優良職業人を例会に 招き，表彰を行う
職 業 奉 仕 月 間 の 計 画 (10.1～10.31)	座談会を行う	1. 上記計画の実施 2. “職業奉仕の新方針”に ついて例会で卓話
“職業奉仕の新方針”に基 づく小委員会設置について	会員数が少ないため設置し ていない	今後，設置の予定
過去に行った職業奉仕の代 表例	1. 天塩 N T T で職業訪問例 会（’83年） 2. 老人ホーム真愛荘を歌手 大江久子一座とともに訪 問（’84年）	1. 優良従業員表彰 2. 職場訪問
職業奉仕についての意見	上欄2.の活動を通じ，人と人 の心のふれあいの大切さを 改めて痛感した	

第 1 分 区		
稚 内	稚 内 南	利 尻
1. 仕事を通じて地域社会に奉 仕している人々に，職業奉 仕賞を贈り，職業活動表彰 を行う 2. 例会プログラムに我社の一 品 P R の場を設け，新技術， 新商品を P R してもらい， 発表者には献金をお願いす る	1. I・A・C のアルバイト先 等の相談をうける 2. 会員相互の職業情報の交 換を3分間スピーチで行う 3. クラブ創立記念の3月に 奉仕功労者の表彰	1. ロータリークラブの原点 の再認識 2. 職業奉仕の意義の理解 3. 個人別実践の督励
	1. 職業体験の卓話	
設置していない	<b>就職相談小委員会</b>  I・A・C 設立にともない， 学生アルバイト先としてク ラブ会員の会社を紹介	
	1. 例会での職業についての 卓話 2. 職業奉仕功労者の表彰を 例会招待	

分 区	第 1 分 区	
ク ラ ブ	礼 文	利 尻 島
職業奉仕計画の概要	1. 職業奉仕月間に会員に，“私の職業奉仕”として卓話。 2. 会員事業所の優良従業員表彰 3. 社会奉仕活動実践者表彰 4. 職業奉仕のクラブフォーラム 5. 炉辺会合の実施	1. 会員相互の理解を深めるため、会員の職場の人々と懇談をもち、理解を深めたい 2. 例会で4つのテストを全員で唱和したい
職業奉仕月間の計画	上記のうち，1と3	1. 優良社会人の表彰 2. 専門的職業に関する卓話
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	設置していない	<b>職業活動表彰小委員会(10名)</b>  現在目立たない処で，地域社会に貢献している人々を表彰の対象とする
これまでに行った職業奉仕の代表例	1. 漁業従事者等の表彰慰労 2. 助産婦さんなど社会的功労者の表彰，慰労 3. 新卒就職者の激励会（島に残る若者のために）	1. 利尻高校の校長卓話を行い，その後在校生と将来進路について会合をもった 2. 町長等町の三役と町内現状について話し合った 3. 会員の職業についての卓話をもった
職業奉仕についての意見		

第 2 分 区		
美 深	中 川	名 寄
1. 町の授産場誘致に積極的に協力する 2. 障害者の職場確保に努める 3. 人づくり町づくりの一環として，海外派遣の人材養成に積極的に協力し，新しい職業感覚と国際性を身につける	1. 4つのテストについての話し合い 2. 職場訪問，勉強会等を行って資質の向上をはかる 3. 職業人の表彰	1. 職業人としての体験談又は情報の卓話 2. 職場例会を行う
職業奉仕の新方針について十分に伝達したい	1. 職業人の表彰 2. 体験談，職業意識の高揚等のプログラムを行う 3. “職業奉仕の新方針”についての解説	1. 職場訪問 2. 会員外の卓話
<b>職業情報委員会</b>  例会に“私の職業”と題し討論会を行い，職業についての情報と親睦を深める	設置していない	設置していない
1. 職場訪問 2. 従業員表彰 3. 座談会，講習会の開催	1. 優良従業員表彰 2. 職場訪問と，その業態の把握	クラブとして特別な活動を行ったというより，会員個々が自己の職業を通じて活躍している。その結果 科学技術庁長官賞 林野庁長官賞 道産業貢献賞 等の栄誉の会員が多数おります
	“新方針”についての，もっとつまびらかなアドバイスを希望する	

分 区	第 2 分 区	
	士 別	下 川
職業奉仕計画の概要	1. 会員各自が各自の職業そのもので社会に奉仕し又自分の職業を確立し、思いやりの心で当るよう修練の行事を行いたい 2. 4つのテストの普及と推進 3. 職場訪問を多くしたい 4. 職業活動表彰委員会設置	1. 時代の産業情勢の変化にともないグループ活動を強化に推進する 2. 職業例会を行い、相互の職業の理解を深める 3. ロータリー的な職業活動にあった人を表彰する
職業奉仕月間の計画		1. 職場訪問例会 2. 従業員との懇談 3. 職業奉仕の新方針を利用した卓話を行う
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	職業活動表彰委員会	設置していない
これまでに行った職業奉仕の代表例		1. 職場訪問 2. 従業員との懇話 3. 炉辺会合を利用して会員相互の職業情報交換
職業奉仕についての意見		

第 2 分 区	第 3 分 区	
	中 頓 別	枝 幸
1. それぞれの職業分野における水準を高める。 2. 会員がその職場において又は地域社会で4つのテストを実行する 3. 職場訪問を実施	職業を通じて、社会に奉仕することが、各自の職業を繁栄させる基本的認識を深める	1. 例会プログラムの中で職場訪問例会にI・A・CとR・A・Cと共に行いたい 2. 4つのテストをI・A・C, R・A・Cにも配布しその精神普及を計る 3. I・A・Cを対象に会員職場を行いたい
上記の3.を行う	1. 会員の職場訪問 2. 優良従業員の表彰 3. 実業人、専門的職業人の卓話	1. 旭川工専に職場訪問を行い、同時に学年にロータリーアン必携を贈り、ロータリーを理解してもらう 2. 職業奉仕に関する卓話
設置していない（検討中）	設置していない	職業情報委員会（3人）
	1. 優良従業員の表彰 2. 4つのテストの会員配布	1. 会員の宿泊職場の訪問を行って、その職場情報を深めた。又会員の親睦を助けた 2. 毎年I・A・Cに会員職場での一日研修を行っている 3. 4つのテストを会員事業所に設置、認識を深めている

分 区	第 3 分 区	
	旭 川 東	旭 川 南
ク ラ ブ	旭 川 東	旭 川 南
職業奉仕計画の概要	1. 社会奉仕の関連職場及企業合理化, 安全, 衛生の進んだ事業の訪問 2. 優れた事業人を招いて卓話を依頼したい 3. 炉辺会合で職業奉仕の理解につとめたい	10. 3 ゲスト卓話 (職業情報委) 11. 28 4つのテストのプログラム 2. 20 ゲスト卓話 (職業指導委) 3. 27 従業員表彰プログラム 5. 29 職場訪問
職業奉仕月間の計画	10月13日, 合同酒精旭川工場を見学, "企業経営と雇用確保"と題する卓話を依頼	中小企業家同友会旭川支部長の卓話
"職業奉仕の新方針"に基づく小委員会設置について	設置していない	職業情報委員会(3人) 職業相談指導委員会(2人) 職業表彰委員会(2人) 1. 会員の職業情報を内外にアピールする 2. 新職種のゲストの卓話 3. 会員一人一人が例会ゲストとして従業員を招待し討論会を行いたい
これまでに行った職業奉仕の代表例	1. 会員知人の職場訪問又, 社会福祉事業の訪問等を行っている 2. 旭川青年大学講座に参加 3. 4つのテストのテレホンカードを作成, その思想の普及につとめた	1. 職場訪問 2. ゲスト卓話 3. 従業員表彰
職業奉仕についての意見		

第 3 分 区		
旭 川 西	旭 川 東 北	富 良 野
1. 職場訪問, 会員企業の見学の例会 2. 職業, 就職の情報について内外の専門家の卓話をうける 3. 勤労青少年の表彰	1. "職業奉仕の新方針"の周知と理解をはかる 2. 小委員会設置の検討 3. 職場訪問の実施 4. ゲストの卓話	1. 職場例会を通じて, ロータリーの精神を理解してもらい, 同時に地域職場の認識を深める 2. 4つのテストを広くPRする 3. 会員の職場で優良従業員を表彰する
職場訪問例会 その時R・A・Cの参画を呼びかける	1. 職場訪問 2. "新方針"のパンフレットなど配布して周知したい	職場例会
設置していない	設置していない (検討中)	設置していない (検討中)
1. 会員企業及他業種企業の訪問例会 2. 専門的職業人の例会卓話 3. 優良職業人の激励	1. 職場訪問 2. ゲストスピーチ	

分 区	第 3 分 区	
	上 川	美 瑛
ク ラ ブ		
職業奉仕計画の概要	1.例会で4つのテストを唱和 2.職場訪問例会 3.従業員関係を話し合う座談会 4.優良従業員の表彰	1.会員職場での4つのテストの啓蒙 2.会員職場に潜在するマイナス部分を見出し、一点だけ改善する 3.職場訪問例会 4.ゲスト例会の実施
職業奉仕月間の計画	1.職場訪問 2.優良従業員表彰	
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	設置していない。	
これまでに行った職業奉仕の代表例	1.職場訪問による他職業の理解 2.4つのテストの唱和 3.優良従業員の表彰	
職業奉仕についての意見	職業奉仕はロータリーの根幹を表すもので、その定義は大変よく分るが、理想と現実の面で中々むずかしい処もあります。今後あらゆる機会に会員と共に勉強していきたいと思っています	

第 4 分 区		
遠 軽	紋 別	紋 別 港
“職業奉仕の新方針”にしたがって活動を推進する 4つの小委員会(下記)を設置する	1.各職業における奉仕の精神の振興 2.職業奉仕の具体的実践 3.4つのテストの一般事業所への普及 4.職場例会を開催、労使の理解を深める 5.優良従業員の表彰 6.“最もよく奉仕する人、最もよく報れる”の精神を尊重、個人的実践をすすめる	<b>職業奉仕委員会</b> R I 理事会は従来の焦点を変え、職業奉仕に団体奉仕を組み入れた新しい方針を発表した。また、ロータリーの標語“ He Profits Most Who Serves Best ”を否認する動議も用意されていると聞く。 80年を超えるロータリーの歴史の中で、先人が確立した奉仕哲学の概念が、その理論構造が、その原想原則が、今、累卵の危機にあることを憂慮しつつ、温故知新の精神のもとに、本来あるべきロータリーの本質に沿った実践理論を解明して、事業活動を実施したい。
	職場例会	<b>四つのテスト委員会</b> 四つのテストは、この中にロータリーアンの“心の在りよう”が簡潔に表現されて居ります。このテストを常に自らの心に照し合わせ、ロータリーアンとしての行動に責任を持つよう、例会で唱和し、向上をはかりたい。さらに、会員それぞれの立場で四つのテストをどのように自己に合わせ、仕事に、生活に生かしているか、意見交換をする場を持ちたい。
<b>1.職業情報委員会</b> 会員の職場見学を行い、職業への理解を深める (年1回) “私の職業”のテーマで3分間スピーチを行う (年3回)	<b>職業活動表彰委員会(2人)</b> 表彰委員会 1.職場例会を開催 2.定時制高校生へ定時制教育振興会を通じ後援 3.会員職場の優良従業員表彰 4.職業訓練校優秀修了生を表彰	<b>職場関係委員会</b> ロータリー精神をその職場に生かす様に理解を求め、労使双方の円満な関係によって企業の生産性を高め従業員の福祉を増進する事によって社会に奉仕をすることを目的とした。そのために会員に職業奉仕に関する情報、文献を紹介する。又、職場例会を実施することとする。
<b>2.就職相談委員会</b> 卒業生と懇談しアドバイスをあたえる	上記のうち、2.3.4を実施して来ている。	<b>職業情報委員会</b> 企業の永続的な繁栄と発展には経営者と従業員との間の相互理解と信頼が樹立されることが重要な要素であり、企業の生産性の向上と従業員の自主性を尊重しモラルを高める様クラブ会員に努力するよう奨励する 1.職業奉仕に関する情報、文献を会員に紹介。 2.職場例会及び職業上の卓話を行う。
<b>3.職業活動表彰委員会</b> 地域の専門職業で優秀な実績をあげた人を表彰する		
<b>4.職業相談委員会</b> 就職相談委とタイアップして行う		



分 区	第 4 分 区	
	中 湧 別	興 部
職 業 奉 仕 計 画 の 概 要	1.職業奉仕月間(10月)までに地区より配布予定の各クラブ計画の集約資料を参考にして、実行可能なもの実践 2.例会時に「1口職業情報メモ」として、3分～5分間程度の会員卓話を実施し、その内容を会員相互の職業上の協力、研修に役立てたい 3.10月の職業奉仕月間にゲスト卓話 4.地元就職者歓迎会を例年通り後援	1.職場訪問例会 2.従業員招待例会 3.職業を語り合う炉辺会合 4.四つのテストの唱和
職 業 奉 仕 月 間 の 計 画	1.会員職場での職場訪問例会 2.ゲスト卓話 3.職業情報をテーマの卓話	
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	小クラブのため小委員会設置の必要はない、と考える	
これまでに行った職業奉仕の代表例	1.地元町、商工会主催の新規就職者歓迎会の後援 2.職業奉仕のゲスト卓話 3.職場訪問例会	
職業奉仕についての意見		

第 4 分 区		
雄 武	佐 呂 間	滝 上
1.例会に地域事業所、公共機関の従業員を招待する 2.4つのテストを各種事業所、団体に配布し、倫理的水準向上につとめる	高校生の就職相談は、毎年学校の先生と話し合い、地元会社の情報、専門学校への進路指導等を行っていく	1.4つのテスト委員会と協力して、4つのテストの意味について討論会を行う 2.町の産業(農業、林業、観光)について皆で考え、又関係職業人を迎えて説明会等を行う
未 定	年間の事につき特に計画はしていない	職場訪問例会
設置していない	小クラブにつき、設置していない	小人数のため設置していない
		1.職場訪問例会 2.4つのテスト会員アンケートの実施

分 区	第 5 分 区	
	網 走	網 走 西
ク ラ ブ		
職業奉仕計画の概要	1. 専門職業に関する卓話 2. 職場訪問 3. 高校卒業生への講演会 4. 従業員の表彰	1. 4つのテストの普及活動 2. 優良従業員の表彰 3. 職業奉仕の効果を高める情報の提供 4. 就職相談小委員会の設置
職業奉仕月間の計画	上記1. 2. 4を行う “自由化にゆれる日本農業及地域の農業”についてをテーマとする卓話を行う	1. 優良従業員の表彰 2. 職業奉仕の効果を高める卓話
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	<b>就職相談委員会（5人）</b>  高校卒業生に対し、卒業後の心構えとしての講演会の開催	<b>就職相談委員会（4人）</b>  網走R・Cとの協力プログラムとして、市内3つの高校の就職希望者を対象とした講演会を各高校の要望を入れ一月に行う
これまでに行った職業奉仕の代表例	1. 業界代表及会員より専門職業の卓話 2. 優良企業の職場訪問 3. 優良従業員の表彰	1. 優良従業員表彰 2. 商工会議所、職業安定所と共催の、就職のための説明会実施。 3. 職業奉仕の理解に役立つ文献講読のすすめ
職業奉仕についての意見		

第 5 分 区		
美 幌	北 見	北 見 東
1. 職業奉仕月間にゲスト卓話 2. 会員の職場訪問（蓮井鉄工所） 3. 職業人育成機関（コンピューター学校）の見学 4. 優良職業人の顕彰	1. R1の新方針を会員に理解させ、その実践に取り組んでいる 2. 4つのテストでは一般の人々にも知ってもらうため、テレフォンカードを作りたい 3. 職業に関する卓話と職業例会を開催する	1. 移動例会（北見農業試験場） 2. 4つのテストを会員名簿に印刷、新会員に額を贈呈 3. 専門職業人の例会卓話
10月20日 会員の職場訪問 10月27日 ゲスト卓話（職業訓練所校長）	1. 就職相談、職業指導等が地域内でどの様に行われているか理解することが大切だと考え先ず北見地域職業訓練センターで例会を開き、その施設を見学し、事業の内容について理解を広める 2. 10月の月間に先だつて9月中に北見地域訓練センターの町田会長に卓話を願い、北見地方に於ける職業相談、指導の現況を勉強する	1. 上記の1.を行う 2. 雇用員と従業員に関してのゲスト卓話 3. 就職情報に関して、北見大学就職担当者の卓話
設置していない。	設置していない。	<b>職業活動表彰委員会</b>
1. 4つのテストについての徹底 2. 職業奉仕月間における職業人の講演 3. 優良従業員の表彰	1. 市内各高校、職業安定所の協力を願って就職希望学生にクラブ会員の職場を見学させ、そのあと懇談会を開いて就職についてアドバイスした 2. 当地方の職業人として多くの弟子を養成し職業指導した人を例会に招いてその労をねぎらった 3. 当地方の技能向上に努め全国大会に優秀な成績を納めた青年を例会に招待して、その功績をたたえると共に今後の後継者づくりを願って慰労した	1. 移動例会（毎年10月） 2. 専門的職業の理解のための卓話（茶道家元、歯科医師会長など） 3. 4つのテストをポケット用カードを印刷、常時携帯させ関心を深める

分 区	第 5 分 区	
ク ラ ブ	北 見 西	留 辺 薬
職業奉仕計画の概要	1. 毎月第一例会で4つのテストを唱和 2. 新会員に4つのテストとロータリーの綱領のポスターを配布 3. 炉辺会合での職業的経験の交流 4. 職場移動例会(10月) 5. 新方針の勉強の機会をつくる	1. 雇主・従業員委員会 (1) 職業上重要な卓話 (2) 高齢者(引退者)をボランティアやパートタイム・内職等に就くことが出来るよう、高齢者勤労センターと連繋をとり相談を開催する 2. 職業情報委員会 求職希望者と相当の先生を招待、企業の情報、就職に関する援助、相談などに応じる 3. 四つのテスト委員会 毎月第一例会において四つのテストを全員で斉唱する
職業奉仕月間の計画	上記のうち、4.を行う。	職業奉仕月間にふさわしい卓話
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	設置していない。 今後検討していく(しかし、会員は全員、夫々の企業や地域で奉仕活動に汗を流している点に、理解してほしい)	(職業奉仕計画概要にあるごとく、すでに次の2つの委員会が活動している) 雇主・従業員委員会 職業情報委員会
これまでにを行った職業奉仕の代表例	例会出席が、どうして職業奉仕につながるかを、毎年くり返し情報を提供するとともに、総てのプログラムをその事にむかって組んでいる	1. 毎月第一例会で、4つのテストを唱和 2. 会員企業従業員を例会に招待、懇談(職場例会) 3. 職業奉仕月間に外部講師を招いて卓話。
職業奉仕についての意見	クラブ活動については、R1や地区の指定事項は参考にすが、会員の意見と地域の特性を生かした、実りある自立・独立性を高めながら奉仕活動を行っていく考えである	

第 5 分 区	第 6 分 区	
斜 里	広 尾	芽 室
1. 4つのテストの勉強 2. 企業・公共施設の見学 3. 定時制高校卒業生に記念品を贈る 4. 職業奉仕に関する卓話 5. 健康、予防医学の講演	1. 職業奉仕賞 2. 創立記念日のお誘い 3. 職場訪問 4. 地元高校生の就職懇談会	1. 職場移動例会(年2回) 2. 職業奉仕に関する卓話 3. 会員各位の意見により実践する 4. その他必要のもの
1. 公共施設(上下水道処理場)の見学 2. 職業奉仕月間にふさわしい卓話	1. 会員卓話(その会員のもっていない有用な情報の公開してもらう) 2. 税理士による税制改正問題の卓話	
設置していない	設置していない	
1. 定時制高校卒業者への記念品贈呈 2. 企業・公共事業の見学	1. 職場訪問 2. 4つのテストの斉唱	
人口が都市へ流出しており又職場の少ない我町では、職業活動表彰が精いっぱい。R1の新方針を全部消化ということは、一寸無理と思う。		

分 区	第 6 分 区	
	帯 広 東	帯 広 西
ク ラ ブ		
職業奉仕計画の概要	1. ゲスト卓話 2. 委員会卓話 3. 企業訪問 4. 小委員会設置	1. 炉辺会合の時、お互いの企業訪問の日時を決めてもらう 2. クラブ15周年を迎えて記念誌“会員の素顔”を作成、会員相互の理解を更に深める
職業奉仕月間の計画	1. 企業訪問 2. ゲスト卓話（酒の美学）日本人と関わりの深い酒について知られざる面を話してもらう	1. 企業訪問例会 2. 母子家庭で、新聞配達の少年を表彰 3. 文化について、女性の卓話を行う
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	<b>職業活動表彰委員会(6人)</b> 該当者(事業所)を表彰し業種、業界の活性化を図るその選考条件、対象範囲、時期方法を定めた	<b>職業奉仕推進委員会(4人)</b>
過去に行った職業奉仕の代表例	1. ゲスト卓話(2回) 2. 委員会卓話(2回) 3. 社会奉仕委員会と合同の植樹行事 (但し'88～'89年度分)	1. 4つのテストを例会時に朗読 2. “会員の素顔”を発行、各会員の抱負を述べてもらう 3. 市内主要企業を移動例会として訪問する
職業奉仕についての意見	4つのテストについて、もう一步その活用を掘り下げて行きたい	概念があまりにも漠然としていて、取扱いにくい分野であり、良い説明書があればと思っています

第 6 分 区	第 7 分 区	
	帯 広 北	釧 路 東
10月 会員卓話 (北電帯広支社長) 4月 ゲスト卓話 (三井物産 若王子 札幌支社長)	1. 職業における高い道徳的水準 2. 誠実・忠実・公正にもとづく雇主・従業員間の円滑な関係によって従業員の生産性・忠実性・福祉の増進をはかる 3. 他の新しい職業の研究も行って、全ての職業の社会的有用水準の認識を深め青少年への助言援助を行う <b>四つのテスト委員会</b> (1) 例会案内、週報に四つのテストを常に掲載し認識をより深めていく (2) 会員が日常の仕事に四つのテストをどのくらい使っているかを自己評価するための質問票を配布する <b>雇主従業員関係委員会</b> (1) 経営理念とビジョンについて、会員による発表の場を設け、そこに至るまでのプロセスを勉強する (2) 労働時間の短縮、労働環境の整備等従業員の待遇の改善について研究を行い、発表する (3) 社員教育による能力アップ、職能給的給与体系、人材の採用といった生産性の向上を目指した研究を行い、発表する	1. 毎月第一例会で4つのテストを唱和 2. 職業認識を深めるため、3分間スピーチを実施 3. 年2回、職場例会
会員卓話 将来の電力需要について (上記の1)	1. 10月には小委員会の活動すべてを行う 2. 雇主・従業員関係委員会で卓話を予定	ゲスト卓話(テーマは仏教とお盆)
設置していない	<b>職業情報委員会(3人)</b> 1. 市内高校を訪問し進路指導の先生と面談、高校生への求める情報を調査 2. 高校生の望む情報提供の場を設ける 3. 新技術、新分野の職業の方を講師として招くなど、会員の職業情報を多くする	<b>職業情報委員会(4人)</b> 1. 青少年の職業選択を援助 2. 就職希望者との接触の機会をもつ 3. 高校、職安などと連絡をとり情報を会員に提供
1. 職場訪問 2. 個々の企業で“4つのテスト”を奨励 3. 体験発表-会員卓話	1. テレフォンカードによる4つのテストの活用推進 2. 高校生への就職、進学への情報提供 3. 雇主・従業員関係の勉強	職場例会
日本の社会に於いては、現実性が少ない	日本の現況から見て、馴染まない点がある。日本的に考え直して、日本に適した委員会構成としてはどうか	

分 区	第 7 分 区	
	釧 路 北	釧 路 西
ク ラ ブ	釧 路 北	釧 路 西
職業奉仕計画の概要	<p>関係委員会と協力して次の計画を行う。</p> <p><b>1. 雇主・従業員関係委員会</b></p> <p>(1) 職場例会を年2回</p> <p>(2) 職業奉仕月間にゲストにより労使関係について卓話</p> <p>(3) 炉辺会合でよい労働環境をつくることで話し合う。</p>	<p>1. 毎月第一例会で4つのテスト唱和</p> <p>2. 炉辺会合</p> <p>3. クラブフォーラム</p> <p>4. 職場訪問例会(年4回)</p> <p>5. 卓話</p> <p>6. 寄稿</p>
職業奉仕月間の計画	<p><b>2. 四つのテスト委員会</b></p> <p>(1) 公共の場に4つのテスト掲示</p> <p>(2) 市内設置の掲示板の保全につとめる</p> <p>(3) 4つのテストの普及</p> <p>上記の中より実施</p>	<p>10月17日 釧路がん検診センターを訪問し、卓話を実施する</p>
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	<p><b>職業情報委員会</b></p> <p>1. 高校就職希望者を対象に職業情報提供の会を開く(10月中旬、釧路星園高校で行う)</p> <p>2. 炉辺会合で職業奉仕について語りあう</p>	<p><b>職業情報委員会(2年前より)</b></p> <p>1. 地元高専高校と協議し、職業選択の情報を提供。</p> <p>2. 例会で会員の職業情報について認識を深めるよう卓話を行う</p>
これまでに行った職業奉仕の代表例		<p>1. 職場訪問例会</p> <p>2. 卓話(労働基準監督署など)</p>
職業奉仕についての意見		

第 7 分 区	第 8 分 区	
	釧 路 南	厚 岸
釧 路 南	白 糠	厚 岸
<p>1. 4つのテストの掲示板を設置する</p> <p>2. 職場例会(年2回)</p>	<p>8項目の計画の中、大きな計画として</p> <p>4つのテストのテレホンカード作成し、地元高校卒業生に贈る計画をもっている</p>	<p>1. 永年勤続従業員表彰</p> <p>2. 4つのテスト子供版の下敷を小学一年生に配布</p> <p>3. 新入社員激励会</p> <p>4. 職場例会</p> <p>5. 地域青少年就職についての活動</p>
上記の2を行う	<p>中小企業労使問題についての商工会職員の例会卓話を行う</p>	<p>1. 上記の1を行う</p> <p>2. 高校の進路指導(就職)の先生を例会に招き、現況を聞きクラブで協力出来る問題をさぐり、地域青少年の就職問題に貢献したい</p>
設置していない	設置していない(検討中)	設置していない
<p>1. 職場例会に於いて優良社員表彰</p> <p>2. 新卒高校生の就職のための職業情報提供</p>	<p>1. 職場訪問例会</p> <p>2. 就職情報提供</p> <p>3. 高校生を対象にした進学、就職の講座</p>	<p>1. 4つのテスト子供版下敷の配布(20年以上続けている)</p> <p>2. 専門職業人表彰(火葬場管理人、汲取従業員、公園管理人等)(社会善行表彰)</p> <p>3. 新入社員激励会、永年勤続表彰</p>

分 区	第 8 分 区	
	浜 中	中 標 津
ク ラ ブ		
職業奉仕計画の概要	1. 4つのテストを公共施設に掲示 2. 代表的職場訪問 3. 炉辺会合のテーマとする 4. 会員及会員外の職場との交流をはかる。	1. 4つのテストの額を職場に贈呈，啓蒙運動する 2. 職場訪問 3. 職業奉仕月間に，高校生を対象に職業，就職についてロータリーアンとの対話の場をもつ。 4. 行政又は会員に職業情報についての卓話をしてもらう
職業奉仕月間の計画	1. 上記の2.3を行う 2. “ロータリーの職業奉仕とは”のテーマで道下俊一パストガバナーの卓話を行う	1. 上記3を予定 2. 根室職安所長に最近の就職状況の卓話を依頼
“職業奉仕の新方針”に基づく小委員会設置について	<b>職業奉仕表彰委員会</b> 1. 社会的に目立たぬ人で職業を通じて社会に貢献している人 2. 模範的従業員 3. 一村一品運動にアイデアを出して努力している人の表彰	<b>1. 職業相談指導委員会(3人)</b> <b>2. 職業情報委員会(4人)</b> 新方針にのっとり，奉仕活動を行う予定
過去に行った職業奉仕の代表例	1. 地元職場との高校生就職説明会 2. 職場例会 3. 火葬場管理人，汚物処理の管理人等の表彰，キャンドルパーティへ招待	1. 地元高校生徒との就職に関する懇談会 2. 会員企業での職場例会 3. 4つのテストの贈呈(会員企業及官庁等)
職業奉仕についての意見	“最もよく奉仕する者，最もよく報いられる”のモットー実践倫理を消す根拠を聞きたい	

第 8 分 区		
根 室 西	弟 子 屈	別 海
1. 職場訪問例会 2. 職業奉仕賞授与 3. 職業奉仕月間例会	1. 職業奉仕の有益な資料を会員に提供し，個人的実践に資する 2. 地元の有用な職場を訪問 3. 地元高卒者の就職について会員事業所に求人働きかけ 4. 町内の職業に功績のある人を例会に招き表彰 5. 各事業所に4つのテストを掲示	会員による職業関係の卓話及び専門家の講話を十分とり入れる
上記の3.を行う	上記の1.3を行う	職場例会(幼稚園)を計画している
設置していない(検討中)	<b>職業活動小委員会(2人)</b>  町の職業人の中から功績ある人を選出し，例会で表彰する	設置していない。
1. 4つのテストを毎月第一例会で唱和 2. 10月の職業奉仕月間での“職業と地域社会についての卓話 3. 草の根運動の中から職業奉仕賞候補者を発掘		1. 卓越せる職業人の表彰 2. 職場例会 3. 会員卓話

## アンケートでの御質問への回答

アンケートとともに寄せられた御意見の中に、

(1) “概念が漠然としていて取扱にくい分野であり良い説明書があれば…” とのお話しがありました。御承知かと思いますが、R・Iより出版されている“ロータリアン必携(920-JA)”の第3巻が職業奉仕に当てられており、様々の事例をあげて説明されていて、読みやすい資料です。これを第一におすすめます。R・I日本支局資料室へ所定の注文用紙で御注文下さい。

また、(2)ロータリー標語の“*He Profits Most Who Serves Best.*がなぜなくなるのか”との御質問がありました。これについては、今年4月に行われた国際協議会で話が合ったそうですが、来年1月にシンガポールで開かれる規定審議会で議題の一つとして提出されるということで、まだなくなった訳ではありません。ただ“報いられる”という処が、読みようによっては、報いられることを目的として奉仕するという風に、つまり、無私であり超我であるべき奉仕が、報いられることを目的として行うのだ、というが如く受取られる場合もありますので、その点が論ぜられているようです。いずれ、来年1月の規定審議会で結論と、そのことについてのR・Iとしてのコメントがつくことと思います。

以上カバナー事務局と相談の上の回答です。(なお、(2)について、旭川R・Cの敦賀谷謙会員の資料面での御協力があったことを、感謝の意をこめて附記します。)

## 編 集 後 記

地区職業奉仕委員長  
前 田 啓 三(旭川R.C.)

250地区内各ロータリー・クラブの御協力を得て、ようやく、この小冊子“R・I第250地区の職業奉仕活動について”を発刊することが出来ました。

御多用の中、アンケートに記入又様々の御意見を御寄せ下さった、多くの方々から心より御礼申し上げます。

250地区内64クラブ中、回答を寄せられたクラブは55クラブで86%の回答率となりました。

今年度は、R・Iより、“職業奉仕における新方針(資料509-JA)”が出され、“職業奉仕は、クラブと会員両方の務めである。”という事が強く調されており、そして、各クラブには、小委員会の設置が奨推されました。形式的に小委員会をつくるということは、無意味でありましょうが、R・Iの方針に基づく小委員会設置の問題を、日本の、特に北海道東部の250地区の実情において、どう考えるべきか、どう具体化することが、この新方針の精神を生かすことになるのか、そういった、職業奉仕活動について再検討する機会になればと思い、あえて小委員会の問題を、取りあげた次第です。アンケートを集約しつつ、どのクラブも、すでに個人としてもクラブとしても、まことに意義深い職業奉仕活動を熱心に進めておられる事実を受け、心からの深い敬意を覚えました。

この資料は、職業奉仕活動の250地区としての今年度の実態を示すものでありますが、多数の他クラブの活動を知って、大きな示唆と啓示を、お互いに受けるものと思います。改めてアンケートをお寄せ下さったことに御礼を申し上げ、一層のロータリーの職業奉仕活動に、共に進んでまいりたいと思います。

なお、編集上、紙面の都合で、若干の文章の省略をしたこと、若干文章改めさせてもらった処もありますので、その点はどうか御寛容を、お願い致します。

### RI第250地区の職業奉仕活動の集約

1988～89年度RI第250地区  
職業奉仕委員会 編集

1988.10.1 発行

地区職業奉仕委員長 前 田 啓 三(旭川R.C.)(文責)  
委 員 森 岡 隆(下川R.C.)  
木 越 信 雄(稚内南)